（明治四十一年二月二十八日第三種郵便物認可）

滿洲日報

三月七日
明治四十一年三月七日 土曜日（かのとのとり）
西暦一千九百八年三月七日
清暦光緒三十四年二月初五日
●發行日 毎日發行（但日曜日祭日翌日休刊）
●定價 一枚金參錢 一個月…… 六拾錢 半個年前金…… 四拾錢 一個年前金……
●廣告料 五拾錢 五號活字十九字詰一行 同金參拾錢 同特別 金六拾錢
發行人 長井
編輯人 和田
發行所 奉天大西關 滿洲日報社（電話二二番）

雜報

日本移民問題（タイムス社說）

日本移民問題が刻下の一大難件となれるは素と英領哥倫比亞州が日本移民に對し排斥法を强制したるに原因す、此難問題調停のため、加奈陀政府が最も才幹あり且つ最も術數に富める一閣員を遣はして、日本政府と交渉せしめたるは、極めて策の得たるのと云ふべし、曩きに本紙の論じたるが如く、此問題に關し加奈陀の地位が錯綜せめられたるは、頃者加奈陀が獨斷的に日英通商條約に加盟したる一事實の存するが故にして、該條約は通商相利し相互に移民の便宜を圖るべきを規約せり、加奈陀は毫も日加通商の利益を喪失するを欲せずと雖も日本の無制限移民が沿天の勢を以て西地方の諸港に侵入し社會秩序爲めに脅かれ、其勢力將た白人を凌駕せんとするものあるを見、憂心の極、日加間に適當の協定成立するに非ずば、通商條約を蹂躙する止むを得ざるを思ふに至れり、然れどもにしてマルミュー氏は克く其使命を遂げ奈陀をして條約を繼續せしむると同時方日本は其移民を制限すべき一調停の成を見るに至れり、日本は加奈陀以外英諸領地に影響する所あるの故を以て、素り條約明文の變更を拒否し、且つ此問題關し何等の成文規約を設くるを肯ぜずとも進んで內國條例を作成し英領哥倫比亞向ふ日本移民に嚴重なる制限を加へんとり、之と同時に加奈陀政府亦訓令して、本國より直航する外國への外一切其上陸禁止したるを以て其結果日本移民は布哇他太平洋の諸港より渡航する手段により本國の條例を忌避すること能はざるに至べし之れ日本移民の難問題に對する一解にして一般關係者の深く信賴する所のもたり

責任を重ずる加奈陀の諸新聞は、日本の制限移民の禍害を認むること甚だ切なるのありと雖も、而かも從來此問題に關し日本の利害を等閑視せざるは甚だ賞讃すし、嘗てトロント、グローブが一日本新の記事を飜載して、悅んで同盟國に於る輿論を其讀者に紹介したるが如きは、ち其一例となす、ルミュー氏は日本に滯中、知己を廣く各種の方面に求め日本政府に對して遺憾なく其辣腕を試みたるが如し然れども日本駐剳の英國大使サー、クロードマクドナルド氏が、其外交的熟練を以て最も懇切にミュー氏を輔け其成功をして更に偉ならしめたるは、亦沒すべからざ

六千二百万、何ぞ其相距る事の遠きや具戴天の仇、獨逸に向つて、佛國は何を期してか、果して

▲二十七年前の屈辱

に報ゐんとはする、而かも反つて獨逸の過剩は、伊太利人、西班牙人と共に以て佛國に浸入し、陸に海に、當然民子孫に依て就くべき、地位を擧げ奪へり、愛國の誠ある佛國人の、之を見を聞いて、其衷心の憤、果して何ぞ、嘗地中海岸の利權が、漸く他邦の目ざす所とれるのみならず、獨逸人、伊太利人は、く佛國の內地へさへ、其勢力を扶植せり間佛國々民が依つて以て晏如たる所以ののは何ぞ、曰く、老年者の年金、不具勞者の國庫扶助、兵役年限の短縮等即ち之め、而して兵役年限の短縮は殆ど其極度逸せんとし、佛國軍隊は終に國防の用にへざらんとす

國の軍隊は、今や國民安逸の犧牲となれナショナリストは斷言して曰く

▲佛國史劇の結の幕

近く開かれんとす、悲劇か、喜劇か、其局する所に至つては、今之を豫知するにしと、頃者佛國議會は、忌はしき論爭を出したり、之れ豫備軍人及び植民地軍隊勤務演習期間短縮の提案にして、四十一間の年次教育を、減じて二十七日間と爲きに在り、此提案は、議會が陸軍省經に削減を加へ、以て國民の國庫負擔を輕らしめんと企てしものなりと雖も、而か議員は、一方自己の營利に吝ならず、九万法の歲費を激增して、一躍一万五千法得んと圖れり、眼識ある陸軍の當局者は短縮案を以て甚だしき危險を醸すものりとし、陸相亦豫備軍人教育の困却は必國防を危うくするものなりと痛言し、其賭して勸戒甚だ努めしも、而かも議動かす事能はず此の如くにして佛國陸に對する一大打擊は、終に議會を通過すに至れり、陸軍の打擊は單に之に止まら二兵種の教育年限を短縮して、陸軍省經費に九千万法の削減を加へたり、二年役法の實施は、現役に五万の缺員を生じ騎砲兵の如きは、其編成頗る不完全にし各軍隊の充實せざるもの亦甚だ多し、而獨逸は海に陸に其努力を加へて止まず國議會は徒らに僥倖を夢みて以て晏如た

等の如き都會の地を除けば他は凡て他人に接することも從つて少なく、世界勢などは夢想だもせざる所なり、其最たる僧侶さへも多く文字を解せず都て字を用ひつゝあり、况んや漢字に於て然れども彼等は凡て性怜悧なるを以て施すに教育を以てせば必ず人才を輩出ことを得べしと信ず

十、蒙古人と衙門

各旗に一の衙門ありて其凡てを支配すれども其權力は僧侶に及ばざるもの、其建築は支那內地の衙門と相異なるこく總辦は皆蒙古人を採用し六七名にてを執りつゝあり、余等の到るや先づ刺じ面會を求む、內地の衙門に比して簡なるを見る、余等は共に木綿服を纏りしを見るや聊か輕蔑の擧動を以て余接し先づ護照の有無を問ひしを以て直せしに彼等の總てが漢字を解することざるを以て其意通ぜず、余は通譯をし々說明せしめたるに其効忽ち顯はれ態亦一變し歡待至らざるなし、余は尙進旅行の目的及び經路等を話し且つ案內求む幸にして快諾を得腹心の部下を導たらしむ、尙二三の衙門を訪ひしも相撰ぶ所なし、民は一般に衙門を恐こと非常なり是れ生殺の權が皆彼等のにあるが故なり、然れども彼等も亦頭の都督を恐るゝこと非常にして余等のに面語し云々を語るや殆んど顏色のなりし

十一、蒙古人と俗謠

俗謠は最も單調なるも抑揚あり、頓挫て面白く聞くことを得、余は一夜宿人群牛を監視しつゝ唱ひ居るを聞く竹片を敲くを以て調を合す、調低くも精く、或は高く、或は低く譜は僅節のみにして繰り返し〳〵歌ふも余は最も優美に聞へたり其後も二三回歌を聞く、而して横笛は彼等の最もするもの、如く童子の牛或は馬に騎

軍運動の好根據地たるノウオキエウスべし此二市は速に化して沿海の大と爲すこと必要なり、アメリカ灣は水の支障たるべき沿海の小要塞を築造す過ず、斯かる小要塞はブラゴウエスチンクにも築くこと必要なり然る時は同黑龍江艦隊の好根據地并に齊々哈爾にる侵擊策源地と爲らん、堪察加のペトウロフスク港も亦太平洋に於ける巡隊運動の根據地として防備を施さざるらず遂に沿海州の防備を完成せんが爲は十四箇所の各方面に沿岸陸上堡塞をするを要すと而して演說者の意見に依ポシエット灣のノウオキエウスクに起さ沿海大要塞の築造費は一億三千五百々要し沿海小要塞の築造費は四千万留すと云て具細目を擧示し次に此大工事を出でずして竣工すべく每年國家の之する經費八千五百万留にして要塞に要人員十八萬六千人なるべしと云ひ終に備を施すに於てスレーテンスクより堪に至るの間全く優勢の敵を擊退するにべしと云へり

講談

本町小町 五福屋政談 邑井一講談

（第十五席）

中に見て居た彼のお豐餘りの美男だかはずヒョイと眼を着けて居る中に 小「でげす是れで大抵宜うございませう已込つたお蔭で遊ぶメリが附いた 若「オーで宜い〳〵と雪駄を元の通り穿き直しふに往く後影をお豐は熟々見て居るの松も逸者の端 松「若しお孃さん好い男ございませう 豐「大層お奇麗なお方です 松「あの方は私は知つて居ります通油の金物問屋伊勢屋さんの若旦那でございす（昔は此邊を大門通りと申して彼處は物問屋計りでございます）私か棟梁と一になる前には臺所町の尾張屋と云ふ長家裏に長唄の師匠をして居りました杵屋おと云つて女の子ばかり晝間は浚ひ夜は男弟子を大勢取りましたが其內に伊勢屋さ息子さんもお湯の返りに拔けては長唄稽古にお出でなすつたてともありましての三味線で長唄の一つ二つはおやりなさましたがどんなに好い聲でございませうう云へばあの御隱居さんが貴孃を結婚なればならぬからお前にも心配をして吳れと同時ぞや仰しやいましたが彼の御方な確かまだお內儀さんは極まらぬかと思ひした御身上は御本店と伊勢屋さんなら釣つて居りますが私は迚も職人の女房でありますから媒妁杯は出來ませぬがお橋渡だけ致しませうお孃樣お思召がございますか此表の方で 男「御隱居樣がお歸りでございます 松「さあお孃さん御隱居樣がお歸んなすつたさうでございます 豐「まあじやあ彼方に參りませうと其話はそれで中止になつて仕舞つたすると翌日からお豐は枕も上らぬと云つて倒れて仕舞つたお松が髮を結ひに來たが髮も結はずさあお醫者を呼んで孫兵衛夫婦は心配して居りますと或る時お松が見舞に參りまして四隅に人が居ないから是れ幸と 松「お孃さん私はあなたのお病ひの種は存じて居ります若しや花見の時伊勢屋の若旦那が御病氣の種ではございませぬかえ……もし默つてお出でなすつちあいけませぬさあ本當の事をお聞かせなさい私が其事なれば何處までも御奉公と致しませうと云はれてお豐は顏を赤め 豐「實は……と云つたばかり 松「アヽあなたはお柔和から時代の戀煩ひ……さうでございますか決して御心配には及びませぬそんなら私がお橋渡をしますから付いてはあなた斯うやつて寢て居ちやあいけませぬよお藥を召上つてずつかりあなたお床上を見せて下さらなければお話しも出來ませぬから早く全快してお仕舞ひ遊ばしと此處で極りが附いたからお豐は食附いてとう〳〵快くなつた今日はお床上と云ふ日で見舞物を持つて來たり色々な物をお祝ひ旁々持つて來た人達にお床上げのお馳走お松も手傳ながら來て居ります良い加減の時分に 女房「家根屋

ら先へ歸れてんで今歸つて來ました何にもう棟梁のは勝を見る賭博でめつたに負けたことのねえ賭博だから今に歸つて來なさるだらうそんな喧しく言ひなさるなよ 松「何に喧しく言ふものかね今日は五福屋の娘ッ子の床上げて大變御馳走になつて此通りお重にお土産まで貰つて來たから棟梁の留守の中に差向ひて一杯やらうかね 万「今飲んで來た所だから一寢入り寢て相手をしませう

▲緊急社告▼

我紙は來る十日奉天紀念日の盛典を祝し且つ愛讀者平素の眷顧に酬ゐんが爲め記事の材料を精選し頁數を倍增すべく是等諸般設備の都合上來る八日(日曜日)一日だけ臨時休刊す

滿洲日報社

倫敦電報(三日發電)

●摩佛戰爭　ダマード將軍はヒンタルランド附近に於て部下を統監して終日戰鬪の結果敵軍に死者十三負傷者四十名を出さしめ四十三名の死傷者を見しのみにて敵を擊退したり

●日英商標　日英兩國の間に於て商標に關し遠からず一協約の決定を見るに至る可しと傳へらる

●無政府黨の不穩　米國シカゴにありて一名の無政府黨員警察長の官舍に窃入し其子息と共に銃擊を試みたるが警察長は即座に絶命し兇漢は子息の爲めに擊殺せられたり

伯林特電(三日發電)

●露國首相を斃さん　露國首相ストリピンを斃さんとしたる虛無黨の計畫は失敗したり

●佛國の通牒　モロッコ遠征の軍隊に後援をなさんが爲め佛國は彼のアルゼシラス條約に干係せる列國に向つて存意を通牒せり

北京特電(大日通信員報)

●山東巡撫の新任　日露戰時東邊道たりし表大化(現任湖南布政使)は署理山東巡撫に任ぜられたり他に各省布政使按察使の更迭せるもの數名あり

遼陽特電(六日通信員報)

●安東師團長の上京　安東少將鶴田經理部長は今夜の十時發にて上京の途に就く中川副官隨行せり

大連電報(六日通信員報)

●上京委員質問書提出　上京委員は最後の手段として兩院に質問書を提出の上十日過東京を出發す可し

●陸軍紀念日の祝典　三月十日の陸軍紀念日は力石署長委員長となり西公園にて滿鐵陸軍正金側發起となり大祝典を擧げん等なり

越えて六日午前十一時又も吳參將外四名を引率して來船し直ちに我軍艦の指導に從び黃浦に來れと命じたるも船長は彼等の言を信ずる能はずと若し事實廣東道臺よりの命令に依れるなれば其命令書を示すべしと迫りければ彼は一時歸船の上午後三時二十分に及び再び來船し如何にしても黃浦へ廻航せよと迫りたるも船長は今よりスチームを焚き出せば出航は夜に入り廣東河口の淺瀨危險にして潮時の都合惡く海圖もなければ明未明迄待たれたしと懇願せしも承知せず然らば我方にて本船を運轉せんとて船長に迫るに本船に掲げたる日本國旗を撤去せん事を以てせり船長は其の不法非禮を怒り苟くも本船籍は日本帝國に屬する以上は假令へ何人の命なりとも故なく國旗を撤去し難しとて嚴として此要求を斥けしかば彼等は自ら之を撤去すべしとて本船々尾に掲げし我帝國々旗を不法にも彼等擅まに引き降し代ふるに清國々旗を以てせり時に六日午後三時四十五分船長始め船客及び船員の總ては此暴戾なる行爲を眼前に見て憤怒已み難きも此上事を爭ふは自然穩當を缺くに至るべく宜しく暫く侮辱を忍び彼方の爲すに任すべし廣東到着の上は直に領事に事の詳細を訴へ正當に彼等の非を鳴らし暴を責むべしとて一時之を過せしに多數の兵士は直に出帆用意に着手せしも蒸氣の未だ十分ならざる爲め意の如くならず彼是時を費す内道臺より命令來れりとて一の電報を示せしかば其譯文を寫取り之に吳參將の署名を求めて其正當なるを證明せしめ之を受領せり今は最早一刻の猶豫成り難しとて出帆を迫りて聽かず船長は今は詮なく錨を揚げて黃浦に向へり時に七日午前二時、四隻の清國軍艦は第二辰丸の前後を包圍し哨灯に行方の浪を照しつゝ覺束なくも闇を迴りて徐々に船を進めしも手に海圖なく目に航路を見ず危險限り無ければ彼等も詮方なく一時投錨、同午前六時彼等の連れ來りしイヴェット氏と稱する一外人水先案內を乘組ましめ再び拔錨午前十時半レントン島附近にて又もや錨を投じて潮の滿つるを待つ此時本船に便乘して今迄船內に留まり居たる日本人船客四名を彼等の欲するまゝ香港へ廻送せんとて砲艦寶壁號に轉乘せしめたり(後に船客香港着の上事情を聞しに通常四五時間にて着する船程を十四時間を要して到着せり特更に遲延せしめしは早く事報道せらるゝを恐れたるものか)本船は後零時廿分拔錨進行を續けて折柄廣東河口津西の淺瀨に膠着し機關全力を注ぎて後逃れ努めしも船は十一浬の全速力にて乘揚りたることゝて容易に離砂せず翌八日午前五時の滿潮にて漸く浮き上がり一時其附近に投錨せり然るに彼等は尙ほ黃浦に向つて進行せしめんとせしも本船の吃水にては到底此上の進行を許さゞるを以て船長は斷然之を峻拒せり是より先き澳門碇泊以來陸地との通信は全く許可せず如何にかして陸地に事の大略を報ぜんと苦心せるも本船の警戒嚴重にして恰も拘禁に等しき待遇を受け全く如何とも爲す能はず八日午後三時廣東水師提督李準外十數名外人二名と共に來船し搭載せる武器を取調べんと述べしも領事立會の上ならでは何事も爲さしめずと答へたるに彼等も一言もなく之を認め要求を撤せり同時に船長は食料品の缺乏を訴へたるに漸く其給與は爲し呉れたり然かも未だ船內の人員に上陸を許さず最後に澳門にて荷客と異り此處迄同船にて連れ來りたる儘同監督の爲め乘込みたる店員松島氏は他の船客と同じく其上陸を許されず此日は李準以下一同要領を得ずして歸廣せるもの、如し翌九日午後三時九分李提督は再び威容を正し勢を盛にして假泊地に來り包圍任務に在る軍艦の一に投じたるを以て直に上陸の許可を乞ひたるに此度は之を容れ即ち提督と汽艇を共にして船長及び松島君は午後六時廣東着即刻領事を訪ひて事實の顚末を詳かに訴へ領事も事の容易ならざるを認め翌十日を待ちて船長より其中の詳細を盡し外務及び北京日本公使館へ打電せり(畢)

●哈爾賓行政權問題

哈爾賓に於て東淸鐵道附屬地に於ける行政權に關し露淸兩國官憲間に爭議を生じ淸國地方官は露國が右附屬地內に於て行政權を有せざることを主張し其趣きを在哈爾賓各國領事に通告するに至れり然るに該問題たる單に東淸鐵道附屬地に關する問題たるに止らず延て南滿洲鐵道會社の附屬地にも關係すべきものなるを以て右に關し日露兩國は其意見を交換したる結果東淸鐵道條約第六條は鐵道附屬地內の行政權を鐵道所屬國に付與したりとの解釋に一致したるを以て日本政府は露國鐵道附屬地に在る日本人をして露國の行政權に服從することを承認せしむると同時に露國政府は南滿鐵道附屬地內に在る露國人をして日本の行政權に服從せしむることを承認し兩國各右に關し必要なる命令を發することに決定せし由なるが日露兩國以外の各國は右に就て未だ何等の意思を表明せずと云ふ

●唐巡撫の上京

奉天巡撫唐紹儀氏は近日中に上京すべしとは既に報導せし所なるが聞く所によれば來る十三日を以て愈々當地を出發せらるゝ由にて現に其用意に忙はしと云ふ唐巡撫の此回の上京は一部は督撫會議の結果を齎して政府と商議する爲なるべきも元來巡撫の上京に就ては先きの政府の電命ありしものにして他に重大なる要件あるは疑ふべからざるなり思ふに唐巡撫は政府に入るべしとは或は事實ならん乎

會議を繼續しつゝあるは世人の知れる所なるが聞く所によれば多分數日を出でずして終了するに至るべしと尙ほ其會議の內容に至つては未だ誰人も知る能はざる所なれども多分東三省財政問題及鐵道問題は重なるもの、如し

●派遣警兵の發足

昨報間島派遣兵の第二班二十五名は商埠巡警局巡長陳連陞に引率せられ昨日奉天出發北行の途に就きたり

●胡總辦渡日說　豫て北京總督衙門へ出張中なりし吉林農工商務總局總辦胡宗瀛氏は一昨日來奉したるが聞く所によれば仝氏は實業視察の爲め近々中に日本へ渡航すべしとの說あり

●淸官の來奉　山海關道台朱太君は一昨日當地に來れり

●鐵嶺に於ける諸工事

同地に於ける主なる工事としては滿鐵の附屬地道路改修工費十四万圓に都督府經理部の修繕其他諸工事も全体にては優に十万圓以上に滿鐵の殘工事と新工事を見積れば僅かに五十万以上と見做すを得べく又正金銀行の新築も近き內に着手されんとし已に地所も買收濟にて權太商會の如きも昨年の殘工事としては陳列館並に第二大隊の營繕工事等近々着手さる由兎に角鐵嶺も玆一兩年は建築時代として就も有望との事なれば解氷と共に各種勞働者も續々入込み來たると同時に意外の繁盛を來たすなるべし

●前任東邊道來奉　前署理東邊道臺錢榮氏は一昨四日安東縣を出發し昨日午後六時當地に到着直に督署前なる交涉局東胡同施館に入れり同氏は大約一週間當地滯在の上天津に赴きそれより鄉里なる江蘇省陽湖縣に八十四歲の老母を見舞はるゝ筈なり五末重ねて當地に歸り來る由なるが多分營口道臺に任せらるべしとの說あり

●鐵嶺陸軍紀念日祝賀會　來る三月十日の陸軍紀念祝賀會に於ける今日迄に決定せし項及び餘興の內容を聞くに當日の陸軍居民合同祝賀會々場は鐵嶺倶樂部にして正開宴而して陸軍側の余興として小西門外側支那練兵場に於て午前九時より左の運動會を開催さる由

一旗取競爭	二回	二十四人
二提灯競走	二回	二十四人
三土俵擔ぎ	一回	百八十人
四スプン、レース	二回	二十四人
五武裝競走	二回	二十四人
六四人四脚	一回	四十八人
七飛越競走	一回	百廿人
八野試合	一回	二十四人
九擊劍	有志者	
十豚追	三回	全員

尙居留地側の余興として料理店組合よりは屋台車を出し各料理店藝妓の總出にて市中を賑々しく祝賀會場內に練込み夫より會場の余興にて各店個々の余興あるべく其の余興に就ては已に鐵嶺ホテルの如きも數日前より練習中との事なれば當日の余興は特に見物なるべく此外有志者間にても種々余興の計畫ある由なれば陸軍側の勇壯なる運動會と相待ち定めて當日は愉快なる賑ひを見るなるべし

●安東師團長の上京　安東中將は六日午前十時十分發列車にて師團長會議へ列席の爲め中川高級副官鶴田經理部長を隨へ東上するとの事

耳と筆

▲日露戰爭の最中北京の露淸銀行及び露國公使館より日本人の營業してる堀井業者へ二ケ所に二千五百元宛の井戸を堀る可く注文が來た當業者は儲るは儲る併し丁度其頃天津で露西亞の紀念碑を請負つて某日本人が戰爭開始と同時に又其工事も中止したのであつたので在留民として此堀井工事を請負ふを躊躇した▲が餘り先方の催促の甚しいので當業者は承知して良きや否を島川先生の處に相談に來た▲先生は手を擧げて露國の生命を左右すべき井水の件につき敵國たる日本人に請負はす露國人の面白い行を嘉して此の場合日本人としても夫れに相應する考が度量が無ければならぬと請負せた▲此二個の井戸は尙北京で良い水を出してる▲小村伯の北京へ來てやつた際日淸談判の支那側の委員として慶親王袁世凱と先日鄉里に迫はれた瞿鴻禨であるが前二者の中は夫れ〳〵職務があつて眞實眞棒となつてやつたのは瞿鴻禨氏である▲瞿氏とは島川先生の師弟よりは父子位の干係の深い孫氏家翁の漸く老耄となりしため先生に自分に代る可く紹介を以前に受けた其人である▲殆ど人生の半を先生に養はれ育てられ今日に至つた自分は實際今迄先生の鄉里が伊勢である事は知らなかつた(加藤生記)

一往一來

▲橋本中佐　來奉中の所一昨日鐵嶺に向ふ

▲森江國雄(東邊道衙門顧問)　鐵道線を見送りて一昨夜來奉

…り尙連日

す

(一)玉椿(ちそまき)

金銀時計寶石類貴金屬美術製作品類及各種眼鏡樂器類文房具
奉天東華門大街北側(鐘樓南大街大東門筋へ入右側二軒目)

和洋諸紙　紙小間物類一切
和洋帳簿　小手帳類一切　卸商

天氣豫報　三月七日

奉天　東の風　晴れ

懸賞 **變裝人探し**

▼來る紀念日開催▼面白き珍趣向▲

來る三月十日開催さるべき奉天紀念日は我等居留民一同が最も紀念すべき日にして又歡天喜地大に祝賀すべき日なのです我官民諸君は滿腔の熱誠を以て此盛典を張り且つ祝ふべく今其設備中でありますが吾社も何がなと考へた末面白き珍趣向に成る「**變裝人探し**」といふものをしつらへてお祝ひのしるしに寄贈しやうと思ひます「變裝人員は總て七名を以て組織し令夫人、令嬢、紳士、車夫、時代風俗等いろ〳〵に變裝するのです然し見分が附くやうに顏の特點は當日の本紙上及び本欄に記載します發見者は其**特點**を見當に發見なさるのです

發見した人には**五圓以上**（**確定額**は**十日發表**）に**價**する**賞品**を祝賀會事務所から進呈するです

十日の本紙內に變裝者の氏名と顏の特點（假令へば目の左の下に痣があるとか鼻が高いとか低いとか）を書て置きますから發見者は**各自之**れを**切取つて持つてお在**になり發見されたら變裝者の氏名を呼んで「變裝人探し」事務所に同伴の上賞與品をお受取りなさるのです但し二人以上の氏名を呼んだら無効です發見の資格はないのです

變裝者の氏名及び顏の特點は

顏長く鼻高し　大原荒次郎
顏細圓し　大塲澧巖
顏細長くし　村松正水
顏圓く口小し　松井敏
細顏にして鼻普通　北住義雄
左眼の上にイボあり　北嶋元春
眉の間鼻の上部に痣あり　いその露聲

の七名で當日正午から異樣な變裝をして會塲の內を群衆と共に徘徊して居りますから能く注意すれば必ず判る筈になつて居ります

變裝の種類、變裝者の特點は當日の紙上に詳しく書いて發見者の便宜に供し賞與品の等級は當日發表します

主催　滿洲日報社

●**乞食二萬二千人**

一日の花代百五十萬圓……

今年の正月元旦の巴里の町は二万二千人以上の乞食が推し出して凄まじい光景を呈した元來七月の十四日と正月元日は巴里の乞食の數入り日で此の二日に限つて乞食が如何な事をしやうと大抵は警察でも大目に見てるからださあ其日になると夜が明けるか明けぬかに市外や地方から巴里の街を指して押し寄せる乞食勢の勢は素晴しいもので瞬く間に巴里中の賑かな町と云ふ町は占領されて了ふ其の大牢は酷い不具者であるが偽盲や俄跛者も少くは無い或人がグランド、ホテルの側へ往つて見ると未だ早朝なのに十四人までも御蓙が控へて居る其中三人は腕無し一人は腕と足が無い二人は脚を持たぬ其の一人が腹の空た片輪者を御惠み下さい」と云ふと二人目が「男爵閣下御目出度い新年です何か一錢お下なさい」又た一人が一層聲高く「子爵閣下可哀さうな同胞を御忘れ下さるな」四番目が外の者に負けてはならんと一層聲を張上げて「公爵閣下私は四十八時間何一つ食はぬ者でムいますと云ふ其人が銅貨を一摑み投げて遣ると十四人が我勝ちに取らうと摑み合ふ二人の脚無しが撞木で互に擲り合ひを初めて一人が頭に重い傷を受けた巴里の新年の町は乞食許りが騷々しいのでは無い料理屋へ往くものなら酒は必らず一杯で濟まぬ小僕が乾度「旦那御免下さい新年です」ものまあ差上げませう」と二杯目を注ぐてうなつたものなら何時の酒代よりも少くとも六倍を奮發せねばならぬ

驚く可き商賣は花屋である結婚して人は其親に花籠を贈る慣禮であるが其外に世間通と見られたい者は一年中飲食した家の主婦の妻君に美事な花束を贈る一家の嫡子は母に奇麗に飾つたチヨコレートクリームの箱を送る又た貧乏者は身分に從つて贈答を爲る風で色々な形や大きさの小包を擁へて前後左右に推したり推されたりするので町は右へも左へも動きが取れぬ今年の元日一日に巴里の花屋で賣つて花の値は安く積つても百二十五万圓から百五十万圓と云ふ事だ

●**海賊橫濱に現る**

▲大師河原沖にも出沒す……▲拔刀五人の團……

五人の海賊あり去月二十四日午前二時頃手に〳〵二尺四五寸の業物を振翳して橫濱港防波堤內第一區碇泊の帆船第一號幸喜丸通快丸並に團平船共盛丸を襲撃し金錢及び衣類雜品を掠奪して折からの風雪に紛ぎれつゝ跡白波となりたる事は東京各新紙に記載せられたるが向水上署の報告に依れば賊は幸喜丸を襲ひたる其少し前に同區碇泊の帆船清運丸並に梅田丸をも冒かして金品を掠奪したりと云ふ斯く水上警邏船の隙を窺がひ一夜の內に五隻の船を襲ひたるさへあるに一團五名何れも拔刀を携へたりと云ふに至りては港內に碇泊する武具なき船の如何で枕を高うして眠り得べきぞいでや一刻も早く賊巢を突きて其根本を絕たんものと岡田水上署長は部下を指揮して逮捕の配置に就かしめたるに同日午後八時頃に至り東奔西走の結果空しからずして此海賊を一人殘らず逮捕したるは天晴れ美事の手際と云べし五名は神奈川町新町小林染藏方吉川森藏（十四）同町在子安村小安三千廿七番地丑五郎三男齊藤浦吉（二十）中村町千三百廿三番地田中文吉方鶴岡仙吉（十九）府下八王子寺町大助二男上田信吉（十九）及び住所不定長野縣上水內郡中里村小柳德太郎（二十）にして何れも舊と艀船頭を稼ぎ居たる者なるが太く短く世を渡れやとていつしか互に申合せ信吉之が首領となりて他の四名を指揮し海賊となり濟ませるなり又浦吉は竊盜前科あり目下尚は監視中に在りと云ふ今斯く速に成功たし其筋の探偵方法を聞に水上署には初め此警報に接し何は扨ておき午前一時頃より二時過ぎ迄の僅々二時間に於て五隻の帆船を襲撃し一々金品を掠奪するとは頗る敏活なる動作にて日頃海馴れたる者ならでは叶はぬ業なり必ず船頭か又は港內各所に散居する艀船頭の類なるべしと此に目星を付けたるこそ流石なれ左れば同署の矢田立原、永井等の刑事其他數名の警官は直に東西に分れて探偵せしに全二十三日の夜十一時頃海岸五丁目日本波止塲より艀船會社所屬の艀船を乘出したる者ありとの飛報あり扨こそと一同勇み立ち全力を神奈川方面に注ぎたるに二十四日の早曉漁師町三千九十七番地木村辰五郎方の戸外に當りて頻りに誰可したるに「森藏だよ品物を持て來たから賴む」といふ森藏とは豫て懇意の間柄なるより辰五郎は深き仔細は聞かず「宜しい承知した」と戸內より答へ軈て立出て之を見れば米四俵、炭三俵丈け轉がりあり人影も無し依て其儘預り居りとの事を突止たれば爰に愈々手掛を得、賊は再び贓物のある辰五郎方に立廻るに相違なしと數名の刑事此に張込むと同時に賊は必らず寄席芝居神社佛閣さては人なき船中などに晝寢を爲し夜分起きて惡事を働く者ならんと一手は是等の塲所を搜査せしかど形迹なし或は風を喰て高飛びしたるにあらざるかと刑事等も稍や失望の念を生じたる折こそあれ同日午後六時半頃警官の手配ありとも知らず果して辰五郎方に尋ね寄れるは森藏なり待ち構へたる矢田立原其他數名の巡査は御座んなれ待ち受けたとばかり難なく取押へて繩をかけ續て十分とは經たぬ內に又も來れる浦吉を引括りたり二人の陳述に依るに彼等は第一に清運丸を襲ひて夫れより順々に押し寄せ夜の明け切らぬ內に辰五郎方に來り物音立ぬ樣竊取し來りたる衣類と着替へ見違ふ許りの姿となりて直樣電車にて東京に走り淺草公園內に一日を暮らして別れ〳〵に歸り中にも德太郎、仙吉、信吉の三人は神奈川遊廓森屋に登樓したれば多分尚ほ流連し居るならんとの事にソレ逃がすなと逮捕に向ひ森屋の向側なる石川樓に遊び居る處へ不意に踏込み是れにて一人殘らず召捕つたり此時信吉は外套の下に二尺四寸許りの日本刀を帶て又浦吉は掠奪し來りたる仕込杖を同樓の便所に隱し居たりとか是より先廿日頃大師河原沖合にも五人拔刀の賊ありて砂糖船を襲撃せし事あるよしにて是れも亦た此五人に相違なかるべしと目下嚴重に取調中なりといふ

●**男三郎の近狀**　獄中紀念品を製作す

強盜殺人詩人殺の極惡人として既に死刑の判決確定し爾來東京監獄に死期の至るを待ちつゝある野口男三郎の近狀を聞くに同人の辯護人なる小川平吉氏は豫ねて例の露探殺し今村勝太郎の診察を山田醫學博士に依賴し置きたるより去月二十四日博士同道同監獄を訪れし序に男三郎に會見し安心せしやと尋ねたるに同人は判決前よりは血色もよく稍肉付てさへ見る兩頰に微笑を湛ね只今は更に心に懸る事もありません此通り血色もよくなりましたので被告人中人間らしき血色をして居るのは野口だけだと皆に言はれて居ますと答へ小川氏が種々同人を慰め死の必ずしも怖るべきものにあらざるを諭して別れを告げんとしたるに男三郎はしばしと止め私も何時死期の至るやも計り難ければ貴下幷に花井齋藤兩辯護士に生前御恩に預りし印までに贈呈せんものと日々の少閑をぬすみて紙撚にて卷煙草入三個の製作に從事したるが今や八分通り出來したりとて是れを同氏に示したるが件の卷煙草入にはそれ〴〵紙撚にて名前を現はし仲々巧みなる手際なりし由にて小川氏は快く其遺愛の物品を受くべしと答へたりといふ

●**呼出に應ぜずして科料**　當地小西門大街路北料理店天神樓荒川一松は去る五日當警察署より呼出を受けながら正當の理由なくして其召喚に應ぜざりし爲違警罪として科料金一圓に處せらる

●**デモ奥樣の賭博**　大連滿鐵宿舍の今井、中島、長島などいふは兎に彼方の此彼のといはゞ身分妻君ぢやからとて元は醜業婦だの姙齋婦だのと言はれても今は良人の威を借る奥樣持なし少し辛抱して身をたしなめば奥樣で通さるゝものを附いた癖は何日までも直らぬものにや前記ヲモ奥樣は亭主が每日出勤した留守を宜い事にして昔しの名殘其のまゝベラ〳〵と粉裝し三人手に手を把つて西通岩代盤城町邊の賭塲に出掛けて旅館の主人、料理店の女將、其他賣女奴等を相手に每日醜態のあらん限りを盡してバチ〳〵やり居るとは言語同斷こんな女房を持つた亭主も宜い面の皮

●**チヤン泥續々**　大西門苦力劉用（三十）は去る一日滿鐵奉天驛保線の保管に係るヌンチングロットクリ五點代價十圓六十錢のものを竊取して捕はれ▲小西邊門外無職平野濤（二十）は同驛構內に集積しある富德公司の所有に係る石炭九十一錢を竊取し去らんとする所を驛員に取押へられ▲同所苦力趙天景は四日同驛宿舍建物の板を剝ぎ取らんとする所を驛夫に認められて御用となり孰れも當警察署にて目下取調中

默想小說

這の門（五）　ツルゲネフ作　白帝宮譯

「夫れ〳〵疾つくに覺悟して居ます」

牢乎として拔く可からざる面容に。古樓の軒を見揚げて凉しき眉を披らき乍ら。恁う言ひ放つた。四周は閴として落葉の音もしない。

「嗟々憫れむべき乙女!!人の持たねばならぬ信仰を失ひ。未だ其上に若かき若かき生涯を擲つを思ふて。或は是れはと計りに。涕いて悔やむ夕もあるだらう。思ひ念へば實に可愛相だ……」

「はい……最う夫れは……」

淚は用捨なく乙女の兩顏を傳はつて來たけれども。畢に一條の闇愁に過なかつたのである。

「では這入るが可い」

乙女はツッと進んで閾を過ぎつた。扉は見〳〵內に。重く乙女の背後に鎖される。

「馬鹿!!」

と一聲怨りを結びて聞ゑて來た。其途端に何處ともなく別に聲がする。

「殊勝な乙女!!」

●**奉天驛の盜難**　去る四日の夜の事なりき何物とも知れず奉天驛構內なる滿倉脇貨物突込線に忍び込み貨車の封線を切斷し全車に載積せられたる小麥十三俵を奪ひ取り跡白浪と消ね失せしが全驛にては翌朝始めて其事實を發見し警務署へ屆出たるが目下嚴重搜索中なりといふ

●**瀋陽園碁會**　來る八日（日曜）午後一時より小西關豐州館に於て第二回園碁大會を開き會費銀一圓とし優勝者には一等より八等迄の賞品を呈することゝし一般同好者の來會を希望すとの事なり

●**化粧品の賣出**　遼陽城內山本賣藥店同西門外福島洋行より賣出したるフエスクリームなる白粉及びチエリボヌドなる香油は品質良好にて廉價なる由

●**鐵嶺の花柳便り**　月下當地の花柳界は頗る付きの沈靜で何れもピンともシヤンとも音沙汰なし尤も近來は宴會事の催しが殆んど絕無なるが爲め偶々遊里に足を運ぶの粹客も謂はゞオツにからんだしん猫遊びとなり夫に正月の痛手未だ全く去りやらざるも一因だるべし併し各方面に於ける工事も漸く此頃着工さるゝに至りたればよい越しの金は持たぬと言ふ連中に少し金廻りが付けば隨て景氣を取直し可申夫れが爲め此頃は正札付きの大店もチヨイ〳〵卸直し安賣の聲を聞き中流以下の靑樓は時間賣や切賣が專ら繁昌するとの噂兎に角斯樣な有樣で武士は喰はねど高楊子では暮されず呼出狀や運動と世間の手前を繕てわざ〳〵出迎へする樣な勉强筋もあるとの事併し近々陸軍紀念日の大祝賀もある事故是れが動機で少しは人氣が引立つならんと消息通より投書ありたり

家庭

衣裳の着かた（二）

△襟のかぶり初め　それから襟のかぶり初めで御坐いますこれは近頃からかぶり初めたものですが一つは此頃肩掛などの流行る所からつひ知らず〳〵にかぶるやうになつたのではあるまいかと私は思ふて居るので御坐いますがこれも無論私一個の想像で御坐います

△能がかりの女方　とは云ふもの丶能がかりの女方の着かたは決して衣紋と云ふものはつくりませんこれは何故さうするかと云ひまするに衣紋をつくりますと一寸粹や仇つぽくは見えますけれどもがきり丶つとは見えませんそれで能などでは衣紋をつくらないのであらうと思ひます

△衣服の仕立かた　それから姿をよく見せやうとするにはまづ衣服の仕立かたからして注意しなければなりますまい例へば肥つた人ならば綿入なら口綿にして置くと云ふ風にそれは何んだ彼んだと色々に八ケましいので御座いませうが兎も角もこれは着る人々に依つて合はせなければなりませぬから一概に斯う〳〵とは申されません

△衣裳と普通の衣服との相違　それから芝居の衣裳と普通の衣服とは一寸違つた所がありますそれは何處が違つて居るかと云ふと例へば身幅なぞも芝居の衣裳は普通の衣服より廣く出來て居りますが之は何故廣くするかと云ふと外でもない舞臺などに出て歸つたり何かして居る中に自然と前が開いて來ますからそこで身幅を廣くして置くので御座いますそれに時代もの丶重ねつものなぞになりまするとーー例へば道成寺の衣裳なぞのやうなものですーー附け紐と云ふものを用ひますこれは小兒の附け紐と同じでして何故そんなものを用ゐるかと云ふにいくら踊つてもハチてもつまり附け紐で引きつけてあるからバサりませんので御座いますこれが普通の下締ばかりであると何うしても緩んで參ります

人の声

人間は兎角不得要領ならざるべからず不得要領ならざれば成効せず社會が既に不得要領なればなり（トンチン漢）▲名を欲するまでは駄目也振る間は駄目也エラがる內は駄目也總てがらんとするは實力無き證明すれば也（猶尊子）▲磯捨吉さんは先日何か申譯をして將たやうだが滿鐵本社から月給七分の七の過金?（某驛員）▲禁酒會に入會すると直に酒を吞たくなる何故でせう（大上戶）▲大連東通物山樓でハイカラな靑年が大枚一圓で理想の遊をしたと歎んで居たげな（振れ男）▲月は王に亡び家は女に亡び家を失ひ家は女に繼して人を逆境に沈ましむ（是乎非乎）▲遼陽の第一美人は乃公に惚れてる女である故に乃公は遼陽第一の色男である（色論士）▲一人ヨガリ先生未だお若し〳〵今少し世に出ては少しも勢力はない日本人が滿洲にて活動し能はざる宜なる哉（軍與大臣）▲常盤の掛金取は有名なものである飲んだ翌日は總出で驅け廻る（不人氣男）▲僕は今春は彼の女と結婚する鴛鴦の樂しみ今から思ひやられて待ち長い（玉之助）▲安東縣夢川君に言ふ第四種郵便として原稿を送つて來る度每に通信文を書き添へる事は止し給へ若し爾後右の事があれば甚だ殘念なれど受付ける事をお斷はりする乎も知れぬ（文苑記者）

特別廣告

奉天 **紀念日祝賀會廣告**

一、當日開閉時
餘興　正午十二時より開始
宴會　午後二時開始
各摸擬店　午後三時より開始
仝會　閉鎖午後七時

一、宴會劵は本日より左之各店に於て發行致し候間希望の方は來る八日迄に申込まれ度候

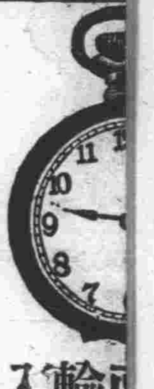
四平街　關東洋行本店
大南門通　廣福洋行
小西　廣濟堂藥房
小西關　關東洋行出張店
小西邊門外　千賀洋行
十間房　日の丸旅館
仝　宇都宮支店
附屬地　奉天倶樂部
仝　岩井洋行

明治四十一年三月五日
奉天紀念日祝賀會開催事務所
奉天紀念日祝賀會開催事務所

●活版**職工募集廣告**

熟練なる**植字職工**數名入用に付希望者は**至急奉天本社又は大連支社**（信濃町）へ來談ありたし

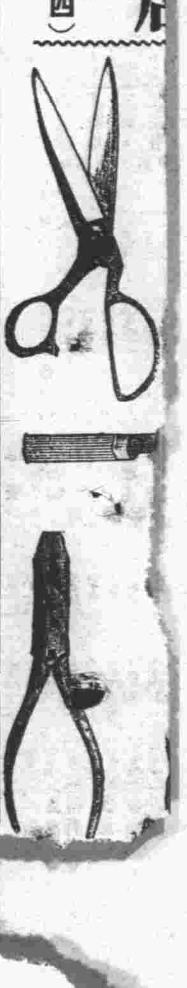
滿洲日報營業部



西輪入

各種器械及附品　具類及原料品　工塲用　室內用諸金物金庫類　厨房用金物器具類及　家具材家品類

膝田洋行　天支店（電話二二四）



逆市場　外海洋行（電話三三九番）

渡邊大連支店（電話申込中）

奉天の氣溫（華氏）
平均（前日の分）二十二度八
最高　二十四度四
最低　十三度一

廣告

日本郵船會社瀛船出帆
●淡路丸　八日正午長崎佐世保行
●高砂丸　八日午後四時太沽行
●神戸丸　九日前十一時門司宇品神戸行
●相模丸　九日午后四時芝罘太沽行
大棧橋より發船可致候
日本郵船株式會社大連出張所（電話二一〇番）

大阪商船會社瀛船出帆
●鐵嶺丸　十日正午門司神戸大阪行
●開城丸　十四日正午門司神戸大阪行
大棧橋より發船可仕候
大阪商船株式會社大連支店（電話二二〇番）

松茂洋行船舶部瀛船出帆
●御代丸　十三日午後四時門司行
●能登丸　八日後四時門司四日市行
●久留加多丸　十二日午後四時門司横濱行
●第二小樽丸　十二後四時門司行
●顯朝丸　十日午後四時門司神戸大阪行
大棧橋より發船可仕候
大連市監部通り二丁目（電話二五九番）
河邊商店大連出張所松茂洋行

資本金二千四百万圓　積立金千五百五万圓
本支店出張所
横濱、神戸、東京、長崎、大阪、倫敦、里昂、紐育、桑港、布哇、孟買、香港、上海、漢口、天津、北京、旅順、遼陽、芝罘、牛荘、長春、安東縣、鐵嶺
横濱正金銀行　奉天支店
電話（十一番　十二番（支配人室））

日本火災保險會社代理店
發賣千金寨煤炭
奉天城裡鐘樓南皮行胡同
三井洋行（電話三五）

内外科産婦人科　歯科　入院随時
營口永世街（電話一五五番）
森病院　院長　森矯

大々的勉強
奉天小西關
佐賀床　店主　神代喜六

牛鳥鋤焼　西洋料理
大連浪速町通り磐城町角
東京軒（電話三四一番）

土木建築請負
煉瓦石灰石材
及び各種建築材料
●大連●營口●長春
●公主嶺●湯崗●張臺子
●鐵嶺●奉天●遼陽
●廊家店
飯塚工程局

奉天大西關大什字街北
科埜洋行
營業科目
建築材料金物
亞鉛引浪板類
亞鉛引平板類
洋釘及亞鉛釘
銅及鎮鍮板
銅及鎮鍮針金
亞鉛板武力板
玆ニ古銅鎮鍮鉛
亞鉛其他買賣
科埜新之助商店

寫眞永清

●本店　東京市日本橋區駿河町壹番地
●支店及出張所所在地
倫敦、漢堡、紐育、桑港、孟買、甲谷他、盤谷、新嘉坡、瓜哇、馬尼剌、香港、厦門、福州、汕頭、臺北、臺南、廣東、青島、上海、漢口、芝罘、京城、仁川、安東縣、北京、天津、牛荘、奉天、鐵嶺、寛城子、内地各要所
三井物産合名會社大連出張所
大連山縣通百二十一番地　電話番號（四百六十番　百七十五番）
營業科目
販賣　大豆、豆糟、棉糸布、木材、石炭、セメント、煉瓦、麻袋、麥粉、砂糖、亞鉛板、諸器械、金物、建築材料、其他内外國製品及原料販賣
倉庫　當倉庫預證券（火災保險ヲ附シタルモノ）を所持せらるゝ方は當地正金銀行にて金融に應ぜらるべき便宜あり
保險　明治火災　東京海上　保險會社代理店

齒科醫
奉天公立病院内
町田新八

會席御料理
奉天小西關北大什字街
金城館（電話一九番）

高等御旅館
奉天大西關南大什字街
金城ホテル（電話二〇番）

會席御料理
奉天日本町
月ケ瀬（電話一二六番）

御手輕御料理道具　古買賣
日本町　**吉田屋本店**
仝　**吉田屋出張所**

蜜柑魚類鑵詰
御問屋
奉天小東門内魚行胡同三三九
㊓**山崎洋行**
廣く委託販賣仕候

會席御料理
奉天十間房
花月

新調並修繕
奉天十間房路北
岡崎製靴商會

支店開設御案内
奉天日本町（十間房）中程　鐵道馬車路北側
白井旅館
客間は總おんどる室にして冬期の御宿泊には至って安樂なり
奉天日本町（十間房）中程より少し東鐵道馬車道南側
白井旅館支店
客室は總疊敷淸潔にして内風呂の設備あり
專業旅館

和洋諸雜貨　精米　食品一切　卸小賣
奉天十間房
秦島商會
主任秦島壽

うどん　そば
奉天小西關金城ホテル前　**更科**
仝日本町　**更科**
從來うどん八錢の處自今五錢に値下げ仕候

御料理
日本町
日の丸亭

御旅館
日本町
日の丸館

營業種目
建築材料塗料
金物諸器械
具梱包材料類
遼陽西門外
上田商行
行主　上田金城

會席御料理
電話一三九

今回内地より藝妓酌婦多數呼寄せ申候
會席御料理
淸國奉天十間房
深川

營業種目
醇良清酒稻正宗
最上醤油京印
エビスビール
娘印ビスケツト
各種食料鑵詰類
石鹸香油香水類
洋服附屬品類
其他各種雜貨
特別廉價販賣
奉天大南門裏
盛進商行（電話四五番）

印書紙の大王（イルホードPOP　マツトPOP　アリトス白金紙）
乾板中の巨擘（イルホード乾板　シイード乾板）各種
其他材料種々新荷着仕候
寫眞器械材料直輸入
從來代金引替ニテ御送付ノ際小包料ノ外ニ要シタル（荷造料　代金引替送金料）共本日ヨリ當分ノ内特ニ弊店ニ於テ負擔可致候
大連信濃町一一三
㊂商店　電話二一九

來ル三月十日**奉天紀念日祝賀會**ヲ展覧會構内ニ開催スルニ付居住邦民各位擧ツテ參集遊覧セラレタシ
一　當日ハ祝意ヲ表スル爲各戸國旗ヲ掲ゲ終日休業老幼男女ノ別ナク可成多數來遊ノコト
一　當日會場ニハ各種ノ摸擬店ヲ開設シ遊覧者ノ隨意使用ニ供ス
一　當日會場ニハ文士劇。撃劍。角力。手踊等多數ノ餘興アリ
一　當日ハ構内本館ニ於テ有志ノ祝賀宴會ヲ設ク
但シ會費ハ奉天票貳圓トシ豫メ宴會券ヲ發賣スベキニ付希望ノ方ハ最寄發賣所ニ申込マルベシ（發賣所ハ追テ廣告ス）
右祝賀會開催ノ費用ハ專ラ有志ノ寄附金ニ之ヲ仰キ度仍テ乞フ各位應分ノ御寄附アランコトヲ
一　寄附金締切　三月十日限リ
一　仝　申込所　奉天紀念日祝賀會開催事務所奉天居留民會内
一　仝　受領證　奉天公報、滿洲日報、内外通信ニ掲載スルヲ以テ之レニ充ツ
奉天紀念日祝賀會
發起人一同

會席御料理
十間房路南
福屋（電話一四四番）

會席御料理
日本町
戎館

會席御料理
奉天十間房
五角

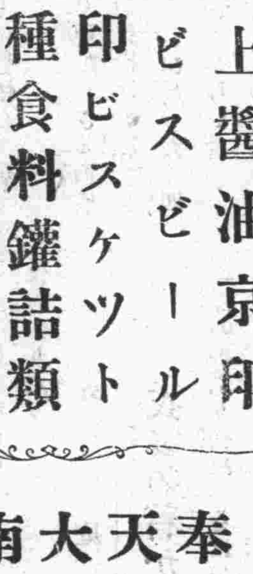
會席御料理
奉天大南門裏大街
梅松館

諸雜貨洋服諸材料御賣
最新流行洋服裁縫調進
裁斷は歐米新式流行に後れず裁縫は細密丁寧を旨とし價格は勉强本位にて各位の御注文に應ず
奉天大東門裡大街
怡信洋行（電話一二二番）

高等旅館
鐵嶺
松華ホテル（電話一一〇）

周旋業
奉天十間房中程
山下眞佐雄
料理人組合事務所

解雇廣告
店員　久吉事　荒木久太郎
右之者都合の有之解雇仕候附今當店に於て一切關係無之候間此段廣告す
奉天小西關
牧野呉服店
千金寨　**仝支店**



玻璃器製造
洋燈　倶全
奉天大西門外廣全道
日本領事館前
穂積商行（電話一三二番）
奉天小西門裏牛馬街　支店
鐵嶺火神廟街　支店
長春北大街　支店

會席御料理
奉天大西門内
水晶館

東洋一大販賣
奉天小西關大街
合名會社　**柴谷出張所**

和洋御料理
日進ホテル
遼陽西門外（電話白〇七番）

旅館並に魚菜市場仲買
鮮魚卸小賣かきめし
奉天小西邊門裡路北
東京館（電話二十一番）

○大連寛城子線
[illegible]

○大石橋營口線
[illegible]

○大連旅順線
[illegible]

○京奉鐵道發着時間表
[illegible]